

第4次総合計画 管理事業を構成する予算事業の評価シート

評価対象年度 令和2年度

施策コード	311	施策	生きがいづくりと社会参加の促進
管理事業	高齢者生きがい事業	所管部局	福祉部

1	所管室課	福祉総務室	事業名	高齢者生きがい対策事業
事業概要				
ふれあい昼食会事業補助				
活動実績				
地区福祉委員会が年4回を超えて実施したふれあい昼食会の一部に対して、(福)吹田市社会福祉協議会を通じて助成するふれあい昼食会事業補助事業については、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため令和2年度は事業実績なし 決算額0円(令和元年度:2,602千円)				
		年度	令和2年度	評価の視点
		決算額(千円)	0	※課題があるものは■ <input type="checkbox"/> 市民ニーズ、社会的役割 <input type="checkbox"/> 有効性 <input checked="" type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> 公平性 <input type="checkbox"/> 持続可能性 今後の実施計画の方向性・内容 継続
		一般財源の比率(%)	0.0	
事業自体の課題や対応状況・施策推進への貢献に関する課題 令和2年度は、ふれあい昼食会の実施形態を工夫したものの、年度を通して新型コロナウイルス感染症の影響により開催自粛や中止を余儀なくされたため本補助事業実績なし。 新型コロナウイルス感染症の影響を受ける前は、ふれあい昼食会参加人数は増加傾向にあり、一人暮らしの高齢者が食を通して地域住民とのコミュニケーションを図ることへの需要は増加していると考えられる。				

2	所管室課	高齢福祉室	事業名	シルバーワークプラザ管理事業
事業概要				
シルバーワークプラザ管理、シルバー人材センター補助				
活動実績				
シルバーワークプラザの管理運営とともに、高齢者の就業機会の増大等の推進を目的に、生きがいの充実や社会参加を希望する高齢者に対し、臨時的・短期的な仕事を提供するシルバー人材センターへの補助を実施。 ・シルバー人材センター会員数:1,966人(令和3年3月31日現在)				
		年度	令和2年度	評価の視点
		決算額(千円)	33,539	※課題があるものは■ <input type="checkbox"/> 市民ニーズ、社会的役割 <input checked="" type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> 公平性 <input type="checkbox"/> 持続可能性 今後の実施計画の方向性・内容 継続 高齢者の就業促進等、市の施策に寄与しているため、補助を行う。
		一般財源の比率(%)	98.3	
事業自体の課題や対応状況・施策推進への貢献に関する課題 当該団体の事業が高齢者の就業・社会参加の促進、生きがいの充実、市の施策に寄与しているため、市として補助を行う。				

3	所管室課	高齢福祉室	事業名	ふれあい交流サロン補助事業
事業概要				
ふれあい交流サロン補助				
活動実績				
高齢者と世代が異なる市民が気軽にふれあい、交流できる場を設ける団体に補助金を交付した。 ・ふれあい交流サロン事業運営団体数:8団体 ・延べ利用者数:18,110人(うち介護予防取組利用者:2,092人) ・令和2年度開所状況: 新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、令和2年4月9日付で6月30日まで休所を依頼した。その他の日程での開所については団体判断とした。				
		年度	令和2年度	評価の視点
		決算額(千円)	1,753	※課題があるものは■ <input type="checkbox"/> 市民ニーズ、社会的役割 <input checked="" type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> 公平性 <input type="checkbox"/> 持続可能性 今後の実施計画の方向性・内容 継続 12か所の設置目標を達成するため、引き続き運営団体の募集を行う。
		一般財源の比率(%)	100.0	
事業自体の課題や対応状況・施策推進への貢献に関する課題 高齢者から乳幼児までの市民が気軽に利用することで世代間交流の場となり、高齢者が集う場として閉じこもり対策に寄与している。第7期吹田健やか年輪プランでは、令和2年度までに12か所のふれあい交流サロンを設置することを目標とし、令和2年度に1か所新たに設置したが、現状では8か所であり、まだ設置数が足りていない。				

上記以外の予算事業

※ 当該年度で廃止した事業、繰出事業などはこちらに記入。

所管室課	事業名	所管室課	事業名

第4次総合計画 管理事業を構成する予算事業の評価シート

評価対象年度 令和2年度

施策コード	311	施策	生きがいづくりと社会参加の促進
管理事業	高齢者生きがい事業	所管部局	福祉部

4	所管室課	高齢福祉室	事業名	敬老事業
事業概要				
地区敬老行事開催、長寿祝賀、寿祝品贈呈				
活動実績				
(1) 地区敬老行事開催 ・令和2年度については新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、地区敬老行事は開催中止とした。		年度	令和2年度	評価の視点
		決算額（千円）	13,484	
(2) 長寿祝賀 ・令和2年9月1日現在で市内に居住する当該年度中に100歳以上となる高齢者に記念品を贈呈した。 記念品贈呈者数：184名 ・本市に居住する当該年度中に結婚50年を迎える夫婦（金婚夫婦）に祝状を贈呈 祝状贈呈組数：103組		一般財源の比率（%）	100.0	※課題があるものは■ <input type="checkbox"/> 市民ニーズ、社会的役割 <input type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> 公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 持続可能性
		事業自体の課題や対応状況・施策推進への貢献に関する課題		
(3) 寿祝品贈呈 ・令和2年9月1日現在で市内に居住する当該年度中に88歳（米寿）、99歳（白寿）となる方に対して寿祝品を贈呈した。 寿祝品贈呈人数：米寿（88歳）1,675人、白寿（99歳）86人		当該事業の対象者数は今後も増大していき、現在と同水準の補助金等を維持するのであれば、それに伴い事業費が拡大していく見込みである。長寿祝賀と寿祝品贈呈については、令和2年度に事業のあり方を見直し、令和3年度の実施について対象者を100歳の方のみに統合し再構築を行ったが、地区敬老行事開催については運営団体の負担が増加する見込みであり、今後、運営方法等の見直しの検討が必要である。		今後の実施計画の方向性・内容
		継続		運営方法等の見直しについて、今後関係団体と調整していく。

5	所管室課	高齢福祉室	事業名	高齢者いこいの家管理事業
事業概要				
高齢者いこいの家管理（指定管理者施設管理）				
活動実績				
高齢者の相互交流と社会参加を促進するとともに、福祉の増進を図るために設置している当該施設の管理運営を実施。令和2年度より指定管理者制度を導入。 ・決算額内訳 合計 15,574千円 指定管理料 15,567千円 施設賠償責任保険料 5千円 指定管理者への契約者変更に係るCATV工事費 2千円		年度	令和2年度	評価の視点
		決算額（千円）	15,574	
※指定管理料について、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、緊急事態宣言発令時や大阪府新型コロナ警戒信号が赤色の期間等、約6か月休館したことで、年度協定額より減額した（△619千円）。		一般財源の比率（%）	100.0	※課題があるものは■ <input type="checkbox"/> 市民ニーズ、社会的役割 <input type="checkbox"/> 有効性 <input checked="" type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> 公平性 <input type="checkbox"/> 持続可能性
		事業自体の課題や対応状況・施策推進への貢献に関する課題		
		令和2年度より指定管理者制度を導入し、事業費（人件費含む）は前年度に比べ3,163千円減となった。今後は、指定管理者と協力し、新型コロナウイルス感染症対策を講じての講座開催、施設PRの推進等により利用者の確保に努め、より費用対効果の高い管理運営に努める。		今後の実施計画の方向性・内容
		継続		指定管理者と協力し、利用者確保、費用対効果の高い管理運営に努める。

6	所管室課	高齢福祉室	事業名	高齢者いこいの間管理事業
事業概要				
高齢者いこいの間管理				
活動実績				
(1) 令和2年度開館状況 ・新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、緊急事態宣言発令時や大阪府新型コロナ警戒信号が赤色の期間等、常駐管理者が不在であることによる慎重な開館対応の検討から、令和2年4月1日から9月30日まで 休館 (令和2年10月1日から12月3日まで 利用再開) 令和2年12月3日から令和3年2月28日まで 休館 (令和3年3月1日から3月3日まで 利用再開)した。		年度	令和2年度	評価の視点
		決算額（千円）	4,926	
(2) 令和2年度利用状況 ・開館中も利用人数の上限数を課したため、35館合計の利用人数3,234人、1館当たり92人、35館合計の稼働日数465日、1館当たり13日、1日に7人利用となった。		一般財源の比率（%）	100.0	※課題があるものは■ <input type="checkbox"/> 市民ニーズ、社会的役割 <input checked="" type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> 公平性 <input type="checkbox"/> 持続可能性
		事業自体の課題や対応状況・施策推進への貢献に関する課題		
		令和2年度は期間で3か月程度、利用人数・利用方法を制限し開館した。利用者からは、施設を使いたいという声が多く、当該施設が、生きがいづくりや外出支援、社会参加を促進する身近な施設となっていることが再認識できた。 今後も、新型コロナウイルス感染症対策を講じながら、高齢者の生きがいづくりの場となるよう、施設の管理運営に努める。		今後の実施計画の方向性・内容
		継続		感染症対策を講じながら、施設の管理運営に努める。

上記以外の予算事業 ※ 当該年度で廃止した事業、繰出事業などはこちらに記入。

所管室課	事業名	所管室課	事業名

第4次総合計画 管理事業を構成する予算事業の評価シート

評価対象年度 令和2年度

施策コード 311 施策 生きがいづくりと社会参加の促進

管理事業 高齢者生きがい事業 所管部局 福祉部

7	所管室課	高齢福祉室	事業名	高齢者生きがい活動センター管理事業
事業概要 高齢者生きがい活動センター管理(指定管理者施設管理)				
活動実績				
高齢者の相互交流と教養向上を促進するとともに、生きがいづくりの拠点として設置している当該施設の管理運営を、指定管理者制度により実施。 ・決算内訳 合計 11,791千円 指定管理料 11,706千円 第3者モニタリング委員報酬 8,400円/回 * 2回 * 5人 84千円 第3者モニタリング食糧費 1千円 ※指定管理料について、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、緊急事態宣言発令時や大阪府新型コロナウイルス警戒信号が赤色の期間等、約6か月休館したことで、年度協定額より減額した(△1,162千円)。		年度	令和2年度	評価の視点
		決算額(千円)	11,791	※課題があるものは■ <input type="checkbox"/> 市民ニーズ、社会的役割 <input checked="" type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> 公平性 <input type="checkbox"/> 持続可能性 今後の実施計画の方向性・内容 継続 第3者モニタリングによる管理運営の実績評価、課題抽出、改善に努める。
		一般財源の比率(%)	100.0	
事業自体の課題や対応状況・施策推進への貢献に関する課題 指定管理期間中の2・4年度に実施する第3者モニタリングにて、学識経験者や税理士等の専門分野の有識者によって、管理運営における実績評価、課題抽出、改善に努める。				

8	所管室課	高齢福祉室	事業名	高齢者生きがい対策事業
事業概要 高齢クラブ活動補助、高齢者友愛訪問、在日外国人高齢者給付金支給、いきがい教室開催、高齢者団体用福祉バス貸付				
活動実績				
【高齢者団体用福祉バス貸付台数の増加による拡充】 (1) 高齢クラブ活動補助金 高齢クラブ数197クラブ、会員数12,111人に対して、高齢クラブ会員数50以上のクラブに年額57,600円、30人以上49人以下のクラブに34,560円、吹田市高齢クラブ連合会に1,321,530円を交付した。 (2) 高齢者友愛訪問 寝たきり又はひとり暮らしで適切な助言や連絡を必要とする75歳以上の高齢者を訪問・激励する事業を受託した吹田市高齢クラブ連合会に対して、5,881,960円の委託料を支払った。訪問対象者数:寝たきり高齢者22人、独居高齢者3,001人、高齢世帯1,149世帯、その他15人で合計4,187件 (3) 在日外国人高齢者給付金支給 大正15年4月1日以前生まれの支給対象者に対して月額1万円を支給した。支給対象者:4名 (4) いきがい教室開催 令和2年度については新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、全教室を中止した。 (5) 高齢者団体用福祉バス貸付 令和2年度より年間バス貸付台数を110台から216台に制度拡充したが、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、令和3年2月末までは利用中止した。貸付台数:4台 利用者数:95人		年度	令和2年度	評価の視点
		決算額(千円)	19,698	※課題があるものは■ <input type="checkbox"/> 市民ニーズ、社会的役割 <input type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> 公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 持続可能性 今後の実施計画の方向性・内容 継続 (2)は受託団体と持続可能性について協議していく。
		一般財源の比率(%)	78.6	
事業自体の課題や対応状況・施策推進への貢献に関する課題 (1) 団塊の世代が全て75歳以上となる2025年を見据えて、超高齢社会の地域のコミュニティ・見守り隊・外出支援の担い手・介護予防の推進活動隊として、高齢クラブが果たす役割はますます重要となっていくが、会員数が減少傾向にある。 (2) 今後、高齢者人口に比例し訪問対象者の増加が見込まれる一方、事業の担い手である高齢クラブの会員数が減少し、会員の高齢化が進んでおり、担い手の不足が懸念される。				

9	所管室課	高齢福祉室	事業名	千里ニュータウンプラザ管理事業(高齢者生きがい活動センター)
事業概要 千里ニュータウンプラザ施設管理				
活動実績				
高齢者生きがい活動センターを有する千里ニュータウンプラザの施設管理。 ・決算内訳 合計 32,889千円 管理運営に係るサービス購入料(設計・建築) 21,170千円 管理運営に係るサービス購入料(維持管理) 10,202千円 光熱水費 1,508千円 管理運営に係るサービス購入料(修繕) 8千円 ※決算内訳における合計と各項目の費用との差△1千円は、四捨五入によるもの。		年度	令和2年度	評価の視点
		決算額(千円)	32,889	※課題があるものは■ <input type="checkbox"/> 市民ニーズ、社会的役割 <input checked="" type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> 公平性 <input type="checkbox"/> 持続可能性 今後の実施計画の方向性・内容 継続 今後もPFI事業を活用した施設の管理運営を行う。
		一般財源の比率(%)	100.0	
事業自体の課題や対応状況・施策推進への貢献に関する課題 今後もPFI事業を活用し、施設の管理運営を行う。				

上記以外の予算事業 ※ 当該年度で廃止した事業、繰出事業などはこちらに記入。

所管室課	事業名	所管室課	事業名